

治建久四年、大掾義幹ヨシノキノ地茨城新治鹿ヲ收テ、其支族資幹ニ與ヘ、府中城ニ治ス大掾氏ハ平國、九世ノ孫ナリ、其佐竹小田二氏交互州ノ介ニ任ジ、州事ヲ知ル、建武中興足利尊氏ヲ守護トス、
 既ニシテ佐竹貞義秀義五尊氏ノ反ニ應ジ、大掾高幹資幹七小田治久知家七官軍ニ屬シ、後皆
 尊氏ニ降ル、關東管領足利氏ノ八館ノ列ヲ定ムル、三氏皆其班ニ入ル、應永ノ末、江戸通房初那
二居リ、後茨城郡大掾氏ヲ襲ヒ、其水戸城ヲ取り、勢威頗ル振ヒ、爾後大掾氏日ニ衰ヘ、疆域大ニ
川和田城ニ居ル、是ノ時佐竹氏久慈多賀那珂茨城四郡ニ連リ、小田氏筑天正二年、小田氏治久治久ハ上杉
ノ故臣太田資正ト戰ヒ、城陷テ、自盡、小田氏亡ブ知家ヨリ治久、獨佐竹義重、兵勢頗ル盛、十八年、
 江戸重通通房六大掾淨幹高幹十ヲ滅シ、悉ク全州ヲ併セ、子義宣ヲシテ水戸城ニ居シメ、北條
 氏ト相抗ス、北條氏ノ亡ブル、義宣欸ヲ豐臣氏ニ送リ、本州ヲ領スル故ノ如シ、關原役畢リ、徳川
 氏其封ヲ削テ、出羽秋田ニ徙シ佐竹氏是ニ、第六子信吉ヲ水戸ニ封ズ、早夭シテ、嗣ナク、第十一
 子頼宣之ニ代リ、其駿河ニ轉ズルニ及デ、第十二子頼房ヲ封ス萬石拾五、其支封ヲ府中慶長六年、
第五子頼隆封ヲ受、宍戸頼房ノ第七子頼雄ト云、又松平信一ヲ土浦ニ、屋政直後ニ松平康重ヲ笠間ニ、後ニ
通眞山口重政ヲ牛久ニ封ジ、寛永中、頼房ノ庶長子頼重封ヲ下館ニ受ケ、尋テ高松ニ移リ、讀寛文
 中、増山正彌代テ封ゼラル後ニ石、其他谷田部初下野茂木下妻正井上麻生新莊三藩ヲ置、凡テ十
 藩、王政革新府中ヲ改メテ石岡ト稱シ、志筑藩本堂ヲ設、磐城ノ守山藩氷戸ノ支封、松川ニ徙リ、
 水戸ノ傅相中山信徴藩列ニ班シ、岡凡テ十三藩、既ニシテ皆改メテ縣トシ、又廢シテ新治茨城
 二縣ヲ置、

〔新編常陸國誌〕建置沿革

補略○中 文祿三年十月、石田治部少輔三成、豐臣家ノ命ヲ受テ、當國ヲ檢地ス、家臣藤林三右衛門
 等、繩入ノ奉行タリ、鶴田氏所藏水帳、佐竹氏所領檢地目錄、コノ時諸國大概檢地ノコトアリ、下
總モ藤林三右衛門奉行セシトミエテ、香取大宮司ガ領地ヲ役セルトアリ、小